

講話

朝鮮地名の考説 (六)

中村新太郎

附 位置を示す語

地形に關する地名の附^つりとして地名に附けられて位置を示す語を擧げて見る。

東西南北の方位を附つたものはかなりある。安東、河東、江東は郡名であり、里名としては東幕里と云ふのが多い。南海や江西も郡名である。北をつけた郡里名も時に見受ける。江原道江陵郡の牛市場として名高い北坪はツェイツェルと呼ぶ。後坪の意である。即ち北を後とするのである。濟州島の北浦もツェイケエと呼ぶ。陽は南を意味するとかかりは云へぬ様であるが高陽、丹陽、南陽等の郡名や里名がある。陽地といふのは陽^ひの當る側を云ひ地名にも少くない。尤も朝鮮の民家は南向を撰んで建てない、陽に無關係である。これは壁の厚い爲めであらう。

上中下 洞里名に上下をつけるのは普通である。上草里、下草里があり、皮上里、皮下里のあるが如きである。たい上洞、下洞と云ふのもある。從て中洞も出來て来る。

間 間洞（訓よみにしてシェーホル）又は間坪といふのが多い。谷に沿うた二つの集落の間にある小集落を表はす。間坪と云へば坪といつても極めて小さな平地のある處である。半程里又は伴程里といふのが往々あるこれは二つの集落の丁度中程にある所といふ意義であらう。

前後 前坪、後坪などは甚だ多い、一般に村の背後にある山を後山フチヤンといひ前にある山を前山アンサンと呼ぶ。

内外 内洞、外洞も甚だ多い。

底 城底里、樓底里、庫底、山底里、嶺底洞などの底は麓とか下とかいふ意である。一般に少し高い物の下は皆底（ミッテ）といふ。

遠 近いといふ方は多くないが遠の字のついた地名は少くない、遠洞、遠川（ムウンネー）などは多い里洞名である。

地境 （チギョン）は道や郡の界にある地名である。然し今では郡を廢合した結果現在の郡界に一致しなくなつたものも少くない。地境といふのは普通名詞で土地の區劃界を意味する言葉である。

五、民居に關する地名

岱 家基である、屋敷地即ち宅地である。隱岱洞、大岱洞、玉岱里、良岱里、場岱里、新岱洞等

堡をつけた地名が多い。宅地の意味から起つて集落を意味することとなつたものである。

基 音はキで訓はトである。址也、據也とあり、敷地である。村の敷地又は市場の敷地といふ意である。大基オホキ、新基ニホキといふのが多い。其のほか市基イチキ、館基カンキ、豐基フンギ、弓基ユウキ、長基チヤギなどがある。基のつく所には市場が開かれる所が多い。基の第二の意義は漁場である。

巨里 街マチ 街路をコリといふ。金澤博士は歩ユルから來たものだと言れる。要所にあたる集落である。

三巨里のことは前に述べたが兩巨里京畿も四巨里 慶南も 程巨里、赤巨里、馬巨里などといふものもある。郡邑をコウルと云ふのに近い。

幕 は小屋である。山幕は山地を開墾する爲めに作つた山小屋即ち火田（日本の焼畑）をつくる爲めの小住家である。山幕里といふのは今では火田の少ない南鮮にもかなり多い地名である。新幕は京義線上の急に開けた小市である。板幕里は板を挽く小屋のある所である。

居酒屋を酒幕サウバクと云ふ。酒幕巨里といふ所が僻地にあればその酒幕は宿屋を兼ねて居る。それで田舎では宿屋のことを酒幕と呼ぶ。地名としては新酒幕ニホマルといふのがよくある。新に街道が出来た爲めに宿屋や酒屋が新に出來た所である。かうなると他に元からの地名があつてもそこを新酒幕と呼んで了つて元の洞名は公稱としては残つても一般にそれが通用しなくなる。其の一例は平壤から南東に向ふ祥原街道の大同郡小山底で出遇つた。然しこんな新酒幕はその街道の交通の盛衰や前

後の集落で起る僅か許りの事件に影響されて荷馬車も休まない従つて酒幕家もなくなつて了ふ様な根柢の弱い一時の街路集落に過ぎないのである。

單に幕洞とか幕洞里と云ふのは小屋のある澤を表はし、石幕は石小屋であつて地名としても甲山咸茂朱北等にある。鹽幕は製鹽場で紙幕里では紙を造つた。沙器幕里江陵では陶器を作つて居る。之等の外幕のついた地名では東幕里が多く古幕は新幕に對して附けた名であらう。周幕里、龍幕洞などもある。

平北には山や峠の名に幕のついたのが少くない。板幕嶺、盖幕山、開幕山、紹幕嶺、獐幕山等がそれである。この幕は前記の小屋の意味として説明し得るが又かうも解釋されさうである。平北では谷底の上流へ向つての傾斜が緩であつて分水嶺下で急に高まつて居る地形が多い。それで谷の下方から行く手の峠の方を仰ぐと張り布幕の様に棚引く分水嶺の連嶂を見る、之を私は幕の地形と云ひたい。實際幕のついた峠や山はかうした地形を有つて居る。

六、生業に關する地名

生業に關した地名は少くない。私よりもつと朝鮮語に通じ、生活の事情を知つて居る人にはここに述べる地名の數倍が生業に關したものであることを見出し得やうと思ふ。今までに氣付いた纔かのもものを取扱つて見てあとは後來の研鑽に残すこととする。

イ、商業に關する地名

朝鮮では見世を開いて商賈を營むことは郡邑にのみ見る所で、地方一般の商賈は負商及襍商と稱する行商人によつて主に行はれる。又後に述べる市場が定期に各所で開かれてそこに集つて來る買手と賣手とで需給を滑かにするのである。

塵 は見世である。京城の舊洞名に砂器塵洞、米塵洞、鞋塵後洞があつた。安州^{南平}には鹽塵里が

ある。現に平壤府に鹽店洞があるが之は舊洞名の鹽塵洞と店洞とを併せて出來た新名であつて鹽店が町中にあるわけではない、と云ふのは後述の如く店は見世ではない製造場のことであるからである。

場 音チャングであり平安道の音ではタングである。これは市の立つ集落を指す、市の立つ集落を普通語で場^{チャングリ}巨里と云ふ。朝鮮には開市場が千三百七十五箇所許りあつて陰曆の一と七の日とか二と八の日とか五日毎に開かれる。公稱の里名としては場を除いてあるものが多いが一般には場を付けて呼ぶ、舊場、新場、漢場、水回場、金良場、笠場等擧ぐるに遑まない。

市には特別のものがある。馬市とか牛市とかいそれで、特に大邱の藥令市と稱する市は今では十二月一日より翌年一月末日迄開かれ、主に漢藥の取引が行はれ近郷近在より蝟集し來るもの毎市一萬人を下らない。市は獨り地方の需給が通せられる許りでなく市を利用して或は訪問或は其の他の用事を足すに使はれ、飲食店が澤山に出て遂には一種の娛樂場たる觀を呈させる。私共がよく繪端

書で見る様な都會地に白衣の人達が密集して居て殷盛な光景を呈して居るのはかうした市日の時に撮影されたもので日常の有様ではないのである。尤も地方の街道に沿うた淋しい集落などの市日は哀れな有様を呈して居るのも無論ある。商品を入れた風呂敷包を脊に負うていそいで田舎道をゆく者に出遇ふことが常である、之は一つの市の立つ處から次の開市場へ急ぐ旅商人である。

場には又牧場の意義もある、馬場は馬市ではなく馬の牧場である。諸所に馬場里といふのがあつた。昔江華島に鎮江場と呼ぶ牧場があつた。又沙場は砂原である。

市 場の代りに市とした市の立つ處も多くはないがまゝある。南市平北 龜城 楊市平北 龍川 雲市咸北 鏡城 等は其の例である。

市邊は利子のことであるが金川海黃に市邊里といふがある。

契 朝鮮には契と稱する組合組織又は部落内で規約を作ることが發達して居る。松契といへば松を植樹する組合であり、學契といへば學校組合である。小地名として京城にはもと新設契、甕里上契、青坡一契等があり、全州全北には一契里、二契里があつた。町内でまとまつた申し合せをしたのから起つたのであらう。

都家 といふのは商人仲間の共同の倉庫で昔から朝鮮で一番商業の盛であつた開城には今でも都家が残つて居るさうである。京城の舊小地名に都家洞があり、其他山の中の小地名に都家洞例へば平

北江界郡があるのは穀物の倉でもあつたのではなからうか。
從南面

ロ、農業に關する地名

耕作することを農事ノシグサと云ふ、茂山北威及龍仁京畿等に農事洞がある。然しこれは附近が農事に適さないのにそこで耕作し得られたから着けた地名で、必ずしも其の地方が農業の盛な土地であるといふ意味ではない。地名としては農所里といふのが南鮮に數箇所ある。これは農事の稍盛なのを示したのではなからうか。所と云つても後で述べる製造場の義あるものではないと思ふ。

朝鮮は農業國である爲めに農業に關した地名は少くない。

田 音はチ ヨン訓はパツである。昔は田と云へば田畑を共に云つたが今では田は畑即ち乾田である。麥田里が諸所にあるのもこのことは了解される。水田の方は畓シと呼ぶ。日本では畠又は畑が文字をかへて來て朝鮮では畓の方が字が變つて來た。又朝鮮訓の *pat* は日本では *hata* となつた。

田と云へば穀物許りに限らない。松林は松田ソルパチであり、收益の多い蘆の生へた川沿ひの濕地を蘆田と云ふ。松田里、蘆田里などは屢々出會ふ地名である。麥田里も多いが牟田里と云ふのも麥田を意味する。麻田は京畿の古い郡名にもあつたし地名としても多い。
楊州、漣川、抱川、金浦等にある。

地名にしたのも多く麥田里は人麥畑のある處であらう。主要都邑には幹線鐵道線の分岐點にある爲め急に町らしくなつた大田がある。

田制殊に官田に就いては韓國時代には種々の制度があつた。種々の名を付けた官有地が多かつたのである。前に驛傳のことを述べた時に云つた馬位田又は驛位田は其の收穫を驛馬の飼養に充てる畑であり、地名としては馬田里、馬位里、驛田里がある。屯田、院田、陳田（免稅された土地）、公須田（諸官衙に屬した一定の土地）があつたが之等は皆地名に残つて例へば公須里、公須田里がある。庄土は所有地を意味する。地名にある將士、章土等は庄土を書きかへたものである特種の者の所有地だといふ意であらう。又大庄里と云ふのものに類するものである。

畚 音タツ訓ノンである。訓の「Ta」は日本で「タ」と變つた。水田である。地名として畚洞（タツトシツ又はノンコル）、畚谷洞が多い。畚洞と呼ぶ小地名がかなり多いが之は其の地方に水田が多いと云ふことを表はすものではない、水田の一般には出来ない地方に極めて小區域に畚のつくれる谷の一部が畚洞であるのである。珍らしいと云ふ方から附けたのである。地名の反語法である。朝鮮には多富洞、富貴洞、萬戸洞などを田舎の地名に見ることがあるが必ずしも富者の集落でもなければ都邑を形成する様な大集落でもなくて、却つて貧しいか淋しい小集落である。貧なるが故に、寂漠たるが故に富まんことを欲し殷盛ならんことを望んで命名したに過ぎない、唯永久に其の欲望が達せられずに小集落として残つて居るのである。

防禦 朝鮮には百五十三萬町歩以上の水田がある。従て古來堤防を築いて貯水池を作り以て

灌漑に便にした處が少くない。現今では幾くかの水利組合が出来て灌漑によつて水田を廣めつゝある。防築は堤防であり、堰と溝渠とを併せて沢と云ふのである。防築里は南鮮に多い地名でよく南鮮に米産の多いのを示して居る。沢のついた地名としては沢坪里京畿安城、忠北堤川、慶南海南等にあり、石沢全南順等がある。水砮洞ムルバンコル、水車洞スチヤコル、水囊洞ムナヤコルといふのは水車小屋のある溪谷の意味である。山溪中にある水車洞の水車は車ではなくて桶を二つ附けたボタンボタンと音をゆつたり立てながら米を搗く仕掛である。小地名としては可成り多い。

斗落 は田の面積の稱呼で内地の何斗蒔と同じで種粃何斗の苗を植付け得る面積の謂である。一斗落の廣狹は一定しないが平均百五十坪内外である。地名として南原全北に斗落里がある。

看坪 と云ふのは内地の檢毛即ち檢見である。即ち作物の登熟前後に地主又は其の代理人が立會つて立毛のまゝで收穫量を考査して其の年の小作料を定めることである。時に小地名に看坪といふのがある。いつも檢見する處の義である。

舍營 は土地の管理者である。朝鮮の大地主は都邑に住んで田舎には舍音が居て小作人に折衝する。報恩北忠に舍音里がある。

夜味 は土地の一筆である。沃溝全北に夜味島里があり、抱川及振威共京畿に夜味里があり、楊平京畿には也味里があり、水原には大夜味里がある。大夜味里を除けば小さな土地を示したものであらう。

於音 は約束手形であるが、於音里、漁隱里、於隱里等が多いのは地主と小作との間にある約定が成り立つた事を示したものでなからうかと思ふ。(未完)

○威北明川の第三紀化石

朝鮮總督府技師立岩巖氏は威鏡北道明川附近の地質を調査され此地方の第三系を分つて二にし下なるを龍洞層群上なるを明川層群と命名し植物化石の研究から此等の時代を略漸新世とせられたが先頃明川層群中に得られた貝類の化石を我教室に送付し同定を依頼し來られたので之を檢したところまた同様に大略漸新世のものである事になつたが詳しく言へば同層群の最下部なる坪六洞層は始新世上部にあたり中部なる威鏡洞層は漸新世にあたり上部なる萬戶洞層は寧ろ中新世下部らしく思はれるのである。坪六洞層の化石は Potamites (Cerithidea) Kanpokuensis n. sp. Batillaria Tateiwai n. sp. Batillaria Yamanai n. sp., Polinices (Euspira) meiensis n. sp., Aclia submirabilis n. sp., Arca (Anadara) datokudensis n. sp., Arca (Anadara) abdita n. sp., Phacoides cf. saxorum Lamarck, Cyclina (Cyclinorbis) lunulata n. subgen. n. sp. などであり Rimella, Cardium 等不確の者が數種あり。威鏡洞層の Pitaria Itoi n. sp., Chione Tateiwai n. sp., Mya crassa Grewingt, Yoldia laudabilis Yokoyama, Thyasira aff. bisecta Conrad 其他數種あり。萬戶洞層の Arca (Anadara) Ogawai n. sp., Phacoides cf. acutilineatus Conrad, Pitaria Itoi n. sp., Macoma inquinata Dshayes, Gemma cryptoconoides n. sp., Polinices (Neritina) colicae n. sp., Glycymeris cisshensis n. sp., Pecten (Chlamys) meiensis n. sp., Diplodontia ferruginata n. sp., Chione Tateiwai n. sp. 其他あり。(横山大輔)